



奈良県感染症情報

令和4年第26週(6月27日～7月3日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.71	(6.35)	➔	➔	➔	↓
2	RSウイルス感染症	0.94	(0.50)	↑↑↑	↗	↑↑↑	↓
3	突発性発しん	0.56	(0.35)	↑	↗	↑	↑↑↑
4	咽頭結膜熱	0.50	(0.53)	↗	↑	↘	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.47	(0.21)	↑↑↑	↘	↑↑↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第26週の新型コロナウイルス新規感染者数は987名と、第25週の715名より増加しています。全国的にも上昇傾向に転じており、今後の感染状況について注視していく必要があります。

県内でもオミクロン株のBA.5系統が初めて確認されました。WHOレポートでは、既存のオミクロン株と比較した重症度の上昇は見られないとしています。世界的にはBA.4系統やBA.5系統の占める割合が増加しており、BA.4系統やBA.5系統へ置き換わりつつある中で、陽性者が増加傾向になっています。

県民の皆様には引き続き、「マスクの着用」や「手洗い」「換気」など基本的な感染対策をお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症が増加しています。感染経路は飛まつ感染と接触感染などです。症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)や高齢者は重症化することがあり、注意が必要です。現在ワクチンはありません。飛まつ感染の予防にはマスクの着用等が有効です。接触感染の予防には、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ・手すりなどのこまめな消毒や、手洗い等が有効です。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

保育園でのアデノウイルス咽頭炎の流行が続いている。

RSウイルス感染症が流行し始めた。

家族内感染の新型コロナウイルスが目立ち始めた。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

軽度の感冒が主。高熱例は減少した。

COVID-19陽性例は僅かずつあり乳児例もあった。症状は軽症。

手足口病、ヘルパンギーナ等の夏風邪例は見られない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

アデノウイルス咽頭炎・アデノウイルス腸炎の流行が続いている。

発熱・咳嗽遷延例からは、パラインフルエンザやライノウイルス、ヒトメタニューモウイルスが検出された。いずれも対症療法で軽快した。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 26 週 6 月 27 日 ~ 7 月 3 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	32 (0.94)	3 (0.33)	6 (0.67)	11 (1.57)	12 (2.00)		
咽頭結膜熱	17 (0.50)	7 (0.78)	5 (0.56)		5 (0.83)		
A群溶連菌咽頭炎	16 (0.47)		2 (0.22)	12 (1.71)	2 (0.33)		
感染性胃腸炎	194 (5.71)	46 (5.11)	39 (4.33)	24 (3.43)	84 (14.00)	1 (0.33)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)			2 (0.33)		
手足口病	6 (0.18)		1 (0.11)	2 (0.29)	3 (0.50)		
伝染性紅斑	1 (0.03)			1 (0.14)			
突発性発しん	19 (0.56)	4 (0.44)	3 (0.33)	4 (0.57)	6 (1.00)	2 (0.67)	
ヘルパンギーナ	4 (0.12)	1 (0.11)		3 (0.43)			
流行性耳下腺炎	2 (0.06)		2 (0.22)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症2件(中和1、吉野1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) クロイツフェルト・ヤコブ病1件(奈良市1) 後天性免疫不全症候群2件(中和2) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒2件(奈良市1、郡山1)

❖ 第26週のトピックス ❖

◆サル痘について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

◆国内における小児の原因不明の急性肝炎について
(第1報) 2022年6月23日時点(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/jissekijpn/11255-fetp-3.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女			4	2	6	3	4															19	81
咽頭結膜熱	男女		1	7	1			1															10	94
A群溶連菌咽頭炎	男女		1	1	3				1		1	1											8	81
感染性胃腸炎	男女	3	5	25	15	12	10	10	7	3	4	1	6	3	4								108	1962
水痘	男女			1						1													2	18
手足口病	男女			2							1												2	51
伝染性紅斑	男女			1																			1	3
突発性発しん	男女		4	6	2	1																	13	142
ヘルパンギーナ	男女		2	2	2																		6	116
流行性耳下腺炎	男女			1	1						1												2	12
急性出血性結膜炎	男女																						1	10
流行性角結膜炎	男女														1								1	35
細菌性髄膜炎	男女																							
無菌性髄膜炎	男女																							2
マイコプラズマ肺炎	男女																							1
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

